

# 四国・剣山山系 剣山～三嶺 縦走山行

2017年11月3日～5日

<参加メンバー> 5人(男性4人、女性1人)

<天候> 1日目 晴れ、2日目 霧時々雨、3日目 晴れ

## <コースタイム>

11/3 梅田—阿波池田(高速バス)、阿波池田—見ノ越(四国交通バス他) 見ノ越登山口 16:10(晴れ) 14:38 発—15:35 リフト西島駅—16:25 剣山頂上ヒュッテ  
11/4 4:30 起床(霧 3℃) 5:33 ヒュッテ出発  
6:40 次郎笈(霧)—7:51 丸石—8:20～33 丸石避難小屋—9:29～40 高ノ瀬—11:24～29 平和丸(1700m)—11:58～12:15 白髪避難小屋—13:01 カヤハゲ—13:52 三嶺—14:03 (3人は15:15) 三嶺小屋(泊)  
11/5 5:30 起床(快晴)—6:40 小屋出発—8:25 旧造林小屋—9:38 いやしの温泉郷

## <山行の概要>

秋の四国山地の自然を楽しもうと剣山から三嶺への縦走山行を行なった。誰に聞いても三嶺はエエで、とよく言う。それも天気が良く、展望を楽しみながらの話である。今回は核心部の剣山～三嶺があいにくのガス、雨、ミズレと目まぐるしく天気が変わり、ちょっと残念な山行となった。なんと下山日は打って変わってピーカンの晴天で、雨男の本領発揮となった。

今回は頂上のヒュッテ泊りにしたが、次回リベンジ?山行ではリフトの西島駅近くのキャンプ場で幕営するのも良いだろう。三嶺の避難小屋は快適な小屋であるが、水場が遠いのが難点である。マイカーを使わず、高速バス利用で行ったが、時間さえ合えば安く行けるので次回もそうしよう。まあしかし、四国は近いようで遠い。でも良い山行であった。



1. 地元のバスの車中より、真ん中奥が剣山



2. 見ノ越の駐車場に到着



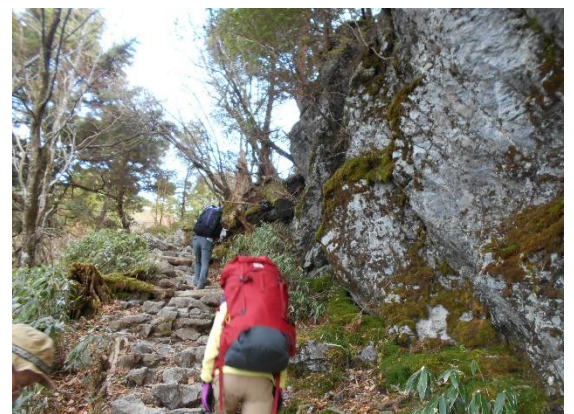
3. ストレッチして出発準備



4. 剣山登山口



5. しばらくリフトの下を歩く



6. 頂上ヒュッテを目指します



7. リフト西島駅方面へ



8. 途中にある日本百名水の剣山御神水に立ち寄り、水を汲む



9. ショク笹の向こうに剣山頂上が見えてきました



10.テント場もあります



11.リフト西島駅に到着



12.遠くに三嶺が見えます



13.奇岩と三嶺



14.稜線がきれいです



15.秋らしい雲が浮かんでいます



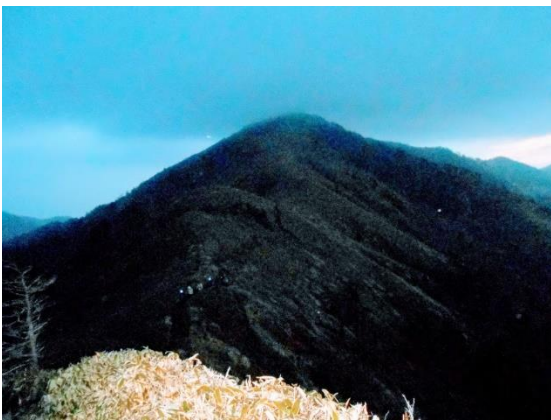
16.頂上ヒュッテが見えてきました



17.ヒュッテに到着



18.ヒュッテの夕食 質素だが美味しかった。  
この後、アマゴの塩焼きも出てきました  
(ヒュッテは 500 円の労山割引あり、それで  
ビールを飲みました)



19.翌朝、次郎笈より剣山を振り返る



20.次郎笈頂上



21.ガスに包まれた次郎笈を後に...



22.丸石へのササの登り



23.丸石に到着



24.丸石避難小屋に到着  
この時は陽が差していたが...



25.雨の中、高ノ瀬に到着  
天気どころと変わり、時間が気になります



26.奥に立ちはだかる三嶺



27.振り返ると剣山と次郎笈があんな遠くに



28.三嶺頂上に近づく、そして鎖場を登ります



29.ガスの中、ようやく三嶺頂上に到着



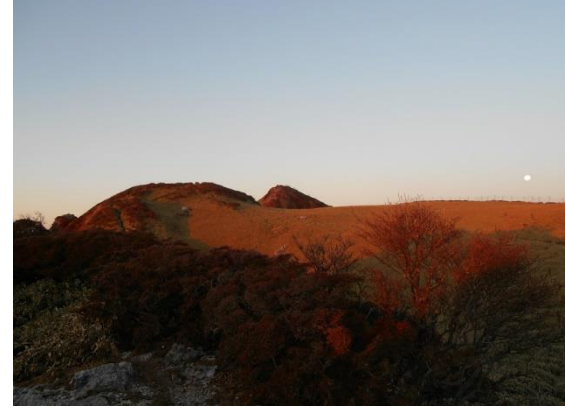
30.頂上から避難小屋まで下ります



31.翌朝は前日と打って変わって天気が良く、ご来光が拝めました



32.真ん中左が剣山、右が次郎笈



33.朝焼けの三嶺が照らされます



34.小屋を後にササ道を下ります



35.剣山と次郎笈の見納め



36.紅葉の中をひたすら下ります



37.明るい樹林の中、落ち葉を踏みしめて下ります



38.登山口にある「いやしの郷」をめざします



39.登山口はもうすぐ  
しばらく歩いて「いやしの郷」に到着。  
温泉に浸かって帰路につきました

おまけです

帰りに「祖谷のかずら橋」に観光で寄りました



大勢の人がかずら橋を渡っています



私たちも渡ります 渡り料 500 円也



懐かしいボンネットバスもありました